取扱説明書

Definition

TANNOY LOUDSPEAKER

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

9A10683600

ご使用の前に

安全にお使いいただくために

あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

アンプなどに接続する際は、接続する機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のコードを使用する。

強制

アンプなどの電源を入れる前には音量を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、または振動の多い場所に置かない。

落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で、使用しない。

スピーカーユニットが発熱し、火災や損傷の原因となることがあります。

注意

スパイクの先端に注意。

スパイク型ネジの先端は鋭利になっていますので、けがをしないよう十分にご注意ください。

使用上の注意

● エンクロージャーや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。

● 本機は防磁型ではありません。テレビやコンピュータのモニターから、1.5m以上離して置いてください。
また、本機の上に磁気記録のカード類(キャッシュカードや定期券など)、テープ類(ビデオテープやカセットなど)、ディスク類(フロッピーディスクやMDなど)、および磁気の影響を受けやすい物を置かないでください。磁気により、データの消失や破損の原因となります。

● アンプからの入力は適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損するおそれがあります。
また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

設　置

設置上の注意

● 直射日光があたる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。

● 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙があたる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。

● 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
また、向かい合った壁面が平行になっていると定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。

● 設置する床が弱いと、低音域で共振しがちです。共振を防ぐためには、カーペットなどを敷くと効果的です。DC4 T、DC6 Tの場合は、スパイクとフットベースを利用してください。

● スピーカーシステムと　リスニングポジションの間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。

設置について

● **Definition DC8**は、ブックシェルフタイプの小型スピーカーです。市販のスピーカースタンドの上やラックの棚などの安定した場所に設置してください。

● **Definition DC8 T / DC10 T**は、ワイドレンジのトールボーイタイプスピーカーです。

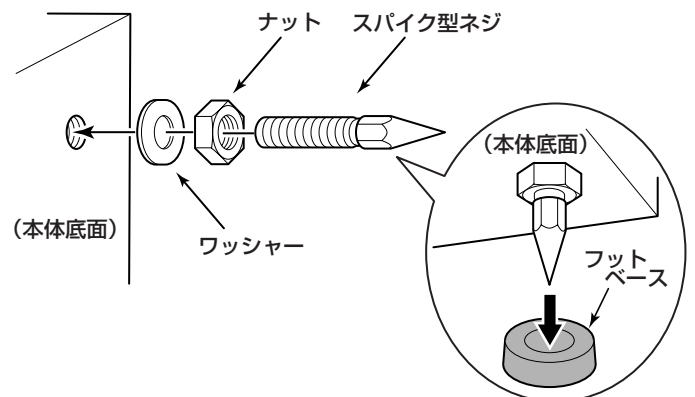
● 設置する床が弱いと、低音域で共振しがちです。共振を防ぐためには、カーペットなどを敷くと効果的です。また、スパイクとフットベース(**Definition DC8 T / DC10 T**に付属)を利用したりしてください。

スパイクネジについて

(Definition DC8 T / DC10 Tのみ)

● **Definition DC8 T / DC10 T**には、スパイク型ネジが付属しています。

● スパイク型のネジは、床面に刺さってスピーカーシステムを安定させるものです。床面に傷がつきますので、床の種類に応じてご使用ください。

● フローリングの床などに設置する場合は、床を傷つけないように、床に付属のフットベースを敷いて、ネジの先端がフットベースの窪みにはまるように設置してください。

1. 傷がつかないように毛布などを敷き、スピーカーの側面を下にして横に寝かせます。

2. スピーカー底面のネジ穴に、スパイク型ネジとワッシャー、ナットをねじ込んで高さを調節します。

3. 4ヶ所の足の取り付けが終わったら、設置場所にスピーカーを立て、ガタツキがないようにスパイク型ネジの高さを再度調節して、ナットを強く締めます。

⚠ 注意

● スピーカーの後部はスパイクの間隔が狭くなっていますので、スピーカーが倒れたりしないように、十分ご注意ください。

● スパイク型のネジは先端が鋭く尖っていますので、手足や指にけがをしないように十分ご注意ください。

● スパイク型のネジを床に突き刺すと、エンクロージャーが床に強固に固定され、共振が抑えられますが、床面に傷が付きますので、床の種類に応じてご使用ください。床を傷付けたくない場合は、付属のフットベースをご使用ください。

接　続

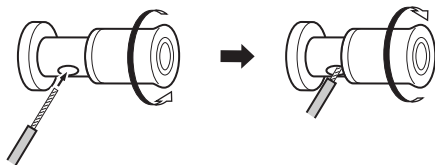
スピーカーケーブルについて

- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

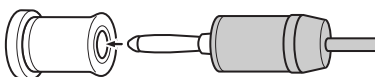
接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。スピーカーターミナル部は端子同士が近いため、＋端子と－端子がショートしないように注意してください。
また、ケーブルの先端がアルミ製の外枠部に触れないように注意してください。

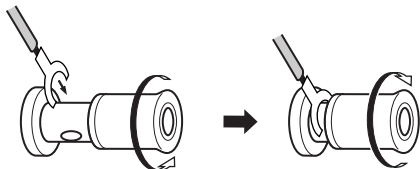
より線の場合

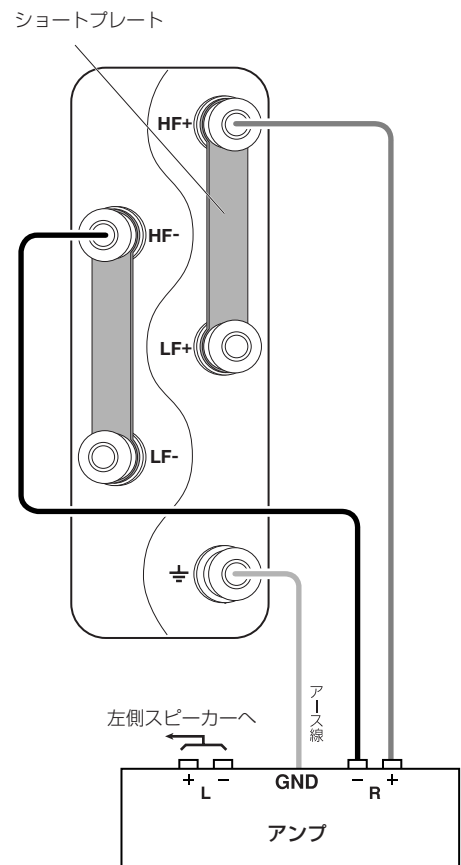
ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。

バナナプラグの場合

スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグを差し込みます。

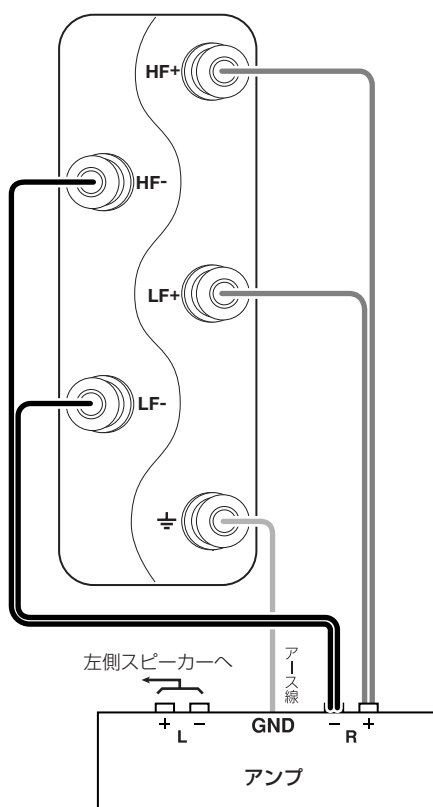
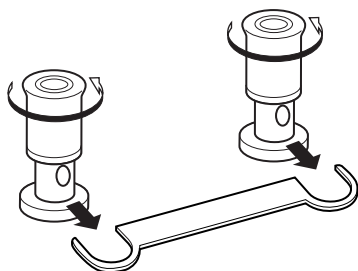
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

Yラグ端子の場合

つまみをゆるめてYラグ端子を挟んでから、つまみを締めます。

- Yラグ端子は、内径6mm以上のものをお使いください。(推奨ラグ端子：WBT-0661/WBT-0681)

ノーマル接続

ノーマル接続(モノワイヤー接続)するためには、ショートプレートを取り付けたままにして、2つずつある赤(⊕)端子同士、黒(⊖)端子同士を接続してください。
その後、LF＋(低域用＋)端子またはHF＋(高域用＋)端子とアンプの⊕端子、LF－(低域用－)端子またはHF－(高域用－)端子とアンプの⊖端子を、スピーカーケーブルで接続してください。LF(低域用)端子と接続した方が良い場合もありますが、一般的にはHF(高域用)端子との接続をおすすめします。

バイワイヤリング接続

本機の性能をより引きだすために、バイワイヤリング接続をおすすめします。
同じ長さの2組のスピーカーケーブルを使って、スピーカーの赤い端子(HF＋とLF＋)をアンプの⊕端子と、黒い端子(HF－とLF－)をアンプの⊖端子と接続してください。

● バイワイヤリング接続のときはショートプレートを外して、＋端子同士、－端子同士の接続を切ってください。

アース接続について

アース接続は、本機の緑(⏚)端子と、アンプのアース端子またはシャシーを直接アース線で接続します。
または、スピーカーケーブルにシールド線を使用している場合は、シールドを、緑(⏚)端子とアンプのアース端子またはシャシーに接続することもできます。

● 本機をマルチアンプ駆動する場合には、アース接続は高域用アンプとのみ行ってください。低域用アンプとアース接続した場合、ハムノイズが発生することがあります。

位相チェックについて

左右のスピーカーの極性(＋・－)が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。

位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性(＋・－)を確認してください。
一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

お手入れ

- エンクロージャーの木部やエンブレムは、乾いた柔らかい布で慎重に拭いてください。汚れは、中性洗剤液を水で薄め、柔らかい布に少し含ませて、堅く絞って拭いてください。(エンクロージャーの表面は傷防止のラッカー仕上げですが、汚れが付着したまま強くこすると傷の原因となりますので、特にご注意ください)
一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。エンクロージャー表面の変色やひび割れなどの原因になることがあります。

- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。

保証とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されています。
保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より１年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。
詳細につきましては、保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

型名：TANNOY（タンノイ） Defintion（デフィニッション） シリーズスピーカー
シリアルNo.：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

仕　様

		Definition DC8	Definition DC8 T	Definition DC10 T
推奨アンプ出力		30W〜175W	30W〜200W	30W〜250W
連続許容入力(RMS)		87W	100W	125W
最大許容入力(瞬間)		350W	400W	500W
能率(2.83V/1m)		88dB	89dB	92dB
入力インピーダンス		8Ω		
周波数特性(−6dB)		42Hz〜35kHz	33Hz〜35kHz	30Hz〜35kHz
指向特性		90°		
ドライバーユニット	デュアルコンセントリックHF	25mm(1インチ) チタニウムドーム テクノウェーブガイド		
	デュアルコンセントリックLF	200mm(8インチ) ラバーエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75インチ)エッジ エッジ巻きボイスコイル		250mm(10インチ) ツインロールハードエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75インチ)エッジ エッジ巻きボイスコイル
	ウーハー	—	200mm(8インチ) ラバーエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75インチ)エッジ エッジ巻きボイスコイル	250mm(10インチ)サブバス ツインロールハードエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75インチ)エッジ エッジ巻きボイスコイル
クロスオーバーネットワーク	クロスオーバー周波数	1.5kHz	250Hz、1.5kHz	200Hz、1.4kHz
	クロスオーバータイプ	LF=2次オーダー、HF=1次オーダー 低損失パッシブタイプ DCT(ディープクライオジェニック処理)		
エンクロージャー	型式	バスレフ(リア)		
	容積	19 ℓ	43 ℓ	76 ℓ
	仕上げ	ダークウォルナット(ピアノ仕上げ) チェリー(ピアノ仕上げ) ブラック(ピアノ仕上げ)		
外形寸法(W×H×D) (サランネットを除く)		271×470×238mm	271×1025×238mm (スパイク/フットベースを除く)	339×1125×330mm (スパイク/フットベースを除く)
質量(1台)		10kg	21kg	34.5kg
付属品		—	ワッシャー×4、ナット×4 スパイク型ネジ×4、フットベース×4	

※ **Definition DC8**は2台一組です。
※ 仕様およびデータは英国TANNOY社の発表によるものです。
※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

お客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN JAPAN　0509·MA-1480A